

宮之城町の半世紀を振り返る

本町が誕生して50年の間に、様々な施策や出来事を経て成長・発展を続けたあゆみを紹介します。今回は、昭和30年～昭和34年までの主な出来事を振り返ります。

◇昭和30年4月

宮之城町が誕生

4月1日、旧山崎町と合併し、現在の「宮之城町」が誕生し、また、合併に伴い宮之城消防団と山崎町消防団が合併し、新宮之城町消防団が発足しました。

◇昭和30年7月

宮之城中学校プール完成

50m公認の宮之城中学校プール（旧）が完成し、8月には九州各県水泳競技大会が開催されました。



◇昭和31年4月

役場庁舎完成

事業費約2,000万円で建設中の鉄筋コンクリート造り2階建ての町役場庁舎が完成しました。



◇昭和31年11月

古川選手オリンピック出場

水泳の古川徹（屋地）選手がメルボルンオリンピックに出場され、関係者は勿論のこと、全町民が健闘を祈りました。

◇昭和32年6月

宮之城療養所を開設

町内の医師の有志が結核を撲滅するため、患者の早期発見、早期治療、感染源となる保菌者を隔離する施設として宮之城療養所を轟原に開設しました。



◇昭和33年11月

宮中プラスバンド全国で4位

宮之城中学校プラスバンドが、八幡市で開催された西日本吹奏楽コンクールで優勝しました。
また、西日本代表として名古屋市中で開催された全国吹奏楽コンクールに出場し、全国4位と活躍しました。

◇昭和34年4月

佐志保育所を町に移管

佐志保育所を佐志区社会福祉協議会立から町に移管しました。
また、高齢者の憩いの家として、湯田に収容定員50人の宮之城敬老園を開設しました。開園後、温泉が付いていることが魅力となり入園を希望される方が多くなりました。



懐かしい写真を募集

宮之城町の50年記念誌を作成するため、昭和30年以降の宮之城町に関わる写真を探しています。

まちの歴史や風俗、風情を物語る古い写真をお持ちの方は、下記へ連絡をお願いします。

○連絡先

企画広報課広報文書係

☎53-1111 内線222